

## 【自然科学研究科博士前期課程 ディプロマ・ポリシー】

自立した研究者・高度技術者としての基本的能力を身につけた人に修士の学位を授与します。すなわち、専門分野の先端的な学術的知見を修得するとともに、学際性や総合性に基づいた広い視野を持ち、関連した分野を含めて獲得した基礎的な知識・技術を応用する能力を身につけ、専門分野に関する課題を自らが研究して実施した研究成果を纏めた修士論文が学術的新規性を有した人に学位を授与します。

## 【自然科学研究科博士前期課程 カリキュラム・ポリシー】

自然科学研究科博士前期課程では、ディプロマ・ポリシーに掲げる自立した研究者・高度技術者としての基本的能力を身につけた人材を育成するため、数理物理科学専攻、分子科学専攻、生物科学専攻、地球科学専攻、機械システム工学専攻、電子情報システム工学専攻、応用化学専攻の 7 専攻を設置し、専門分野に応じた体系的かつ順次性をもった教育を行います。

また、自然科学研究科では大学院教育の充実や改善を図るため、学務委員会を中心として授業計画の充実や FD 活動を始めとした教育方法の改善に継続的に取り組んでいます。

### 【学際性や総合性に基づく広い視野の獲得】

入学後 1 年次に概論科目を配当し、学部教育から大学院教育への接続をはかるとともに、研究科・専攻内の研究内容や最先端の科学、先進技術との関連を学ぶことにより、幅広い視野の獲得を目指します。

### 【専門分野の先端的な学術知見の修得】

専門とする自然科学・産業技術分野に関する高度な学術的知見に加え、関連した分野の基礎的な知識・技術をその位置づけとともに体系的に学ぶコースワークを設定し、専攻及びコースごとに決められた履修方法で講義等を受講し、学際分野を含めた自然科学を俯瞰的に理解する広い視野と専門分野における先端的な知識・技術の修得を目指します。

### 【自ら研究し研究成果を纏める能力の獲得】

修得した学術的知見や技能を応用し、今日的な課題を解決するための課題探究能力と課題解決能力を育成するため、ゼミナールまたは演習と特別研究からなるリサーチワークを行い、自ら研究計画を考え、実施し、研究成果を纏める能力の獲得を目指します。

また、自然科学研究科では、様々な学修の要求に応えるべく研究科横断の学修や先取り履修の制度化(研究科横断 Flex BMD コース)、インターンシップや学会発表等の実践型学修の単位化に取り組んでいます。

各授業科目の単位修得の認定は、試験、研究報告、発表状況・レポート、出席状況、受講態度など多様な要素を組み合わせ厳格に評価します。専攻またはコースごとに決められたコースワーク及びリサーチワークの必要単位を修得するとともに、学位論文の審査及び最終試験により合格の判定が行われます。

## 【自然科学研究科博士前期課程 アドミッション・ポリシー】

### 入学者選抜の基本方針

専門分野に関する基礎学力を有し、かつ柔軟な発想や論理的思考、判断力、協調能力を持つとともに、専門分野の先端的な学術的知見を学ぶことに加え、専門以外の分野にも興味を持って知識や技術を修得し、専門分野や学際分野の新しい課題の解決に挑戦しようとする意欲を持った人を募集します。各専攻およびコースでは、専門科目等の筆記試

験、書類審査、口頭試問により、入試方式(推薦入試・一般入試・社会人入試・外国人留学生特別入試)ごとに定めた基準や比重に従って専門的基礎学力・思考力・判断力・表現力・意欲を評価し、出身学部を問わず多様な学生を受入れます。

## 求める人材像

自然科学研究科では、岡山大学の目的である「人類社会の持続的進化のための新たなパラダイム構築(知の府として、新たなパラダイムを構築)」を背景に以下のような意識と意欲を持った人を求めています。

1. 人と自然の関わりに興味を持ち、地域や国際社会に貢献したいという強い意欲のある人
2. 専攻する学問分野の基礎を修得し、先端研究分野に挑戦する強い目的意識を持っている人
3. 旺盛な学習意欲を持ち、自ら考え、行動することのできる人
4. 研究面でリーダーシップを発揮し、国際的に活躍したいという強い意欲を持った人
5. 専門分野以外の分野にも興味を持ち、幅広い知識と視野を修得しようという意欲を持った人

## 入学者選抜試験

自然科学研究科博士前期課程では、多様な学生を確保するために下記の入学者選抜試験を実施しています。

### (1) 推薦入試

大学院進学を強く希望する学生を対象とした入試で、書類審査及び口頭試問を課しています。書類審査では受験時まで習得した専門性、キャリアプランなどについて、複数の教員が多面的に確認します。口頭試問では、専門科目に関する知識、理解力やキャリアプランなどについて複数の教員が評価します。

### (2) 一般入試

広く大学院進学希望者を対象とした入試で、書類審査及び学力試験等〔筆記試験及び口頭試問〕を課しています。書類審査では受験時まで習得した専門性などについて、複数の教員が多面的に確認します。学力試験では、専門科目に関する知識、理解力等を総合的に評価します。

### (3) 社会人入試

書類審査及び口頭試問を課しています。書類審査では受験時まで習得した専門性、キャリアプランなどについて、複数の教員が多面的に確認します。口頭試問では、専門科目に関する知識、理解力等を総合的に評価します。

### (4) 外国人留学生特別入試

書類審査及び学力試験等〔筆記試験及び口頭試問(又は面接)〕を課しています。書類審査、面接では受験時まで習得した専門性、キャリアプラン、就学の前提となる異文化適応の状況や経済状況などについて、複数の教員が多面的に確認します。学力試験の筆記試験では専門科目に関する知識、理解力等を総合的に評価し、口頭試問(又は面接)では受験時まで習得した専門性、キャリアプラン、就学の前提となる異文化適応の状況や経済状況などについて評価します。

### (5) 外国人留学生海外特別入試

書類審査を課しています。書類審査では受験時まで習得した専門性、キャリアプラン、就学の前提となる異文化適応の状況や経済状況などについて、複数の教員が多面的に確認します。

## 学力の3要素対応表

入試区分	知識・技能	思考力・判断力・表現力等の能力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度
推薦入試	☆ 書類審査 口頭試問	☆ 口頭試問	◎ 口頭試問
一般入試	◎ 書類審査	☆ 口頭試問	○ 口頭試問

		筆記試験 口頭試問				
社会人入試	☆	書類審査 学力試験(小論文及び 口頭試問)	◎	学力試験(小論文及び 口頭試問)	○	学力試験(口頭試問)
外国人留学生特 別入試	☆	書類審査 学力試験(筆記試験及 び口頭試問)	◎	学力試験(筆記試験及 び口頭試問(又は面 接))	○	学力試験(口頭試問 (又は面接))
外国人留学生海 外特別入試	☆	書類審査	◎	書類審査	○	書類審査

(注)◎は特に重視する要素, ○は重視する要素, ☆は総合的な判断となる要素

各要素に対する資料は「主とする資料」であり, それ以外の要素でも活用する場合がある。